

子ども向けのイベントの企画・運営を通して、 スキルアップとセンターの活性化を図る

団体名●いしかわ子ども交流センター活性化プロジェクト／代表者名●山根悠真(人間科学部こども学科3年)

はじめに

金沢市の犀川沿いにある『いしかわ子ども交流センター』。これまでは、センターから募集のあったイベントにボランティアとして参加するという関わり方をしてきた。ボランティアでも学ぶことは多かったが、職員に頼りきりで学生が主体的に動くことは難しかった。

そこで、学生自らがイベントを企画・運営することで、学生の主体性を養い、来館された子どもに楽しんでもらうと同時に、保護者の方々にも「親子間のコミュニケーションの場」を提供することを目標に結成した。当団体主催のイベントが交流センターの行事として定着し、当施設のさらなる活性化につながればという思いをもとに、今年度から活動を始めた。

今年度の活動内容

日時	内容
6/21(金)	顔合わせ
6/28(金)～7/20(金)	イベント案打ち合わせ
10/11(金)～ 12/24(火)	イベント準備(週3回)
10/22(火) 15:30～17:00	センターで打ち合わせ その後はメールにて調整
12/24(火)	メンバー最終打ち合わせ
2020/1/5(日) 10:00～15:00 15:30～16:00	イベント開催 職員との反省会
1/14(火)	プロジェクト内反省会

『U. うーんと S. 新年 A. 遊びましょう』

2020年1月5日(日)に、「U. うーんと S. 新年 A. 遊びましょう」と題し、イベントを開催した。「つまなあカン」「ストライクを狙え」「釣って、釣って、釣りまくれ」「UFO～くるくる大作戦～」(写真)の4つのブースを企画、スタンプラリー形式で運営し、全てのブースを回った子に景品としてバルーンアートを渡した。大人と子ども合わせて約200名の方に来館いただき、多くの方に楽しんでいただけた。また、保護者向けに紙媒体のアンケートを実施し、率直なご意見をいただいた。

成果、結果の考察

前年度、ゼミ活動の一環として交流センターで同様のイベントを実施した際の来館者は120名弱で、思うような結果とはいかなかった。今年度はその反省を踏まえ、センターのHPへの掲載やセンター内にポスター掲示、本学附属の幼稚園2園と小金こども園(金沢市小坂町)へチラシの配布を依頼した。イベントの周知に力を入れたことで来館者の増加につながったように思う。また、事前準備の段階で、安全面や年齢など、いろいろな想定をすることで、メンバーが広い視野を身に付けることができた。また、実際にイベントをやる中で様々な不都合があったが、メンバーそれぞれが自ら考え対処するなど、臨機応変な対応力も身についた。今年度のイベントでは、保護者や子どもたちから「楽しかった」「来年もやるの?」と多く声をいただき、保護者アンケートにおいても高評価をいただくことができ、来年度にむけてのメンバーの意欲も高まった。

写真：イベントにて、メンバーが制作の補助をする



今後の課題、展望

当団体のメンバーは、結成当時は7名(2019/6/1)、現在は9名(2020/2/1)で、子ども向けイベントを企画・運営するにあたっては少ないのが現状である。今年度のイベントでは、メンバー外から2名(こども学科学生)に参加してもらったが、それでも景品ブースが長蛇の列になるなど、裁ききれなかった部分があった。5月には、センター主催のイベントの1ブースを任せたいというお話をいただいております、活動2年目となる来年度は当団体主催イベントをさらに盛り上げたいと考えている。今後はメンバーの募集にさらに力を入れ、余裕を持ってイベントを企画・運営できるようにしたい。